

14

病棟で出来る対策と多職種連携

起立性低血圧は、病棟の通常ケアにひと工夫するだけで予防ができます。多職種で連携して、積極的に予防していきましょう。

<日常ケアにおけるポイント>

ケア・処置の合間にだからこそできる“ながら離床”で起立性低血圧を予防！

- ・ケアや処置が終わったらヘッドアップを促しましょう。
- ・体温測定など起きてできることは、ヘッドアップや端座位で行いましょう。



ヘッドアップをするのなんて
1分もかからないから意外と
できそう



<病棟生活におけるポイント>

声掛けと気配りで起立性低血圧を予防！

- ・臥床から起きた時には、適宜、足関節の自動運動、深呼吸などを促しましょう。
- ・食後に離床する際には、食後低血圧のリスクがあります。起立性低血圧の既往がある人には、特に目を配りましょう。

ご飯を食べると消化器に血流が行くから
注意しないと



<多職種連携におけるポイント>

どのような動作時に血圧変動（特に低値）しやすいのかの情報共有をしましょう。

- ・医師、看護師、介護職種、リハビリスタッフ間で、起立性低血圧をおこしやすい夜間や排泄、入浴時の情報を共有しましょう。
- ・薬剤師に起立性低血圧が生じる可能性のある薬について確認しましょう。該当した場合には、中止もしくは代替薬の検討を相談してみましょう。

「臨床の3密とは」
普段からの綿密な報告戦略で、密接にコミュニケーションを図り、関係性を親密にしておくことも大切です。

